

平成29年度事務事業評価シート(28年度実績)

◎基本情報

事務事業名	環境学習推進事業		担当部署	市民環境部 環境局 環境政策課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市リサイクルプラザ環境学習館条例、鳴門市リサイクルプラザ環境学習館条例施行規則、鳴門市環境基本計画、なると環境プラン推進計画2012		
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業期間	開始	平成	20年度
政策(中項目)	2	快適に暮らせるまち なると			終期	未定
(小項目)		ごみ処理				
施策	6	自然と共生できる循環型社会づくりの推進				
基本事業	2	クリーンセンターの運営及びごみ対策				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	本市の環境基本計画において、環境学習館を環境学習・環境教育の拠点として位置づけていることから、施設内の見学や講座等を通して、ごみの発生抑制や減量、リサイクル等、自然と共生できる循環型社会づくりのための意識高揚をめざす。						
事業計画	28年度に何を計画していたか	環境学習館で育てたゴーヤ苗を希望者に無料配布するとともに「緑のカーテンコンテスト」を開催し、市民に温暖化防止等環境問題への関心や理解を深めていただく。 市民が利用しやすいフクロウと子どもたちの森の環境づくりに努める。 環境学習に関する講座や施設内の見学を実施し、市民への環境問題に対する意識啓発に努める。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
		環境学習館利用者数	8,300	8,300	8,300	8,300	8,300	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	28年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	芝生広場南側のカミサンショウウオが発見された池周辺を、本市のビオトープネットワークの拠点と位置づけ、公募した親子との協同作業により、市民が利用しやすい「フクロウと子どもたちの森」の環境整備に取り組んだ。 環境学習に関する講座や施設内の見学を実施するとともに、環境学習館の活用を推進するため、絵手紙教室や天体観測等、環境学習講座を開催した。また小学校の課外授業として、施設内の見学時に牛乳パックをリサイクルして絵手紙を作る紙漉き体験をしてもらうなど、環境問題について楽しく学んでもらった。						
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		27年度実績	28年度実績	29年度目標	30年度目標	31年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	クリーンセンター視察数	18	13	45	45	45	件
	2	イベント・講座実施数	33	30	40	40	40	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	環境学習館利用者数		7,335	7,429	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			89.5	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成28年度	当初予算額	0	0	0	0	258	258
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	0	258	258
		決算額	0	0	0	0	193	193
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,133千円/人)	臨時職員(2,043千円/人)		総人件費		総事業費
	0.0	1.5		3,065		3,258		

事業費推移	年度	27年度決算	28年度決算	29年度	30年度	31年度
	事業費	249	193	326	326	326
	うち一般財源	54	193	316	316	316
	人件費	3,107	3,065	3,065	3,065	3,065
	総事業費	3,356	3,258	3,391	3,391	3,391

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		緑のカーテンコンテストの開催や各種講座の実施等による啓発に努めた。
	効率性	B:概ね効率的だった		講座内容等を精査することで効率的な運営が行えた。
②成果に対する評価	指標名	環境学習館利用者数		講座内容等の精査を実施したこと等により、イベントの開催回数は減少したが、全体の利用数は前年度を上回ったため、概ね目的を達成したと判断する。
	目標	8,300	人	
	実績	7,429	人	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		<b>B</b>		講座内容等の精査を実施したこと等により開催の機会が微減したが、緑のカーテンコンテストの開催や各種講座の実施等により市民の環境問題への意識向上を図ることができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	平成26年度まで2名であった専属嘱託職員が、27年度以降1名になっているため、イベントや講座数を増やしていくことは難しいが、効率性を考慮することで規模を拡大したり、利用率の高い事業を企画するなどの工夫により、利用者数増加への取り組みが課題となる。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	<b>3</b>
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H29年度	前年度事業を精査し、新規取り組み等について検討する。			
	H30年度	前年度事業を精査し、新規取り組み等について検討する。			